

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプランのニーズやサービス内容について、利用者様の「思い」「意向」をより具体的に反映したものにした。	利用者様の「思い」「意向」を介護計画に反映し、職員全体で共有、利用者様が望む暮らしにつなげる。	利用者様の「したい事」「楽しい事」を傾聴し、実現に向けた取り組みを家族様や職員と話し合い、より具体的なケアプランを作成する。	6ヶ月
2	35	緊急時(特に誤嚥・窒息発生時)のマニュアルの設置や定期的な研修とともに、実技訓練を定期的実施する必要がある。	緊急時(特に誤嚥・窒息発生時)の実技訓練を定期的実施し、不測の事態に対応できるスキルを身につける。	消防署などの外部研修への参加、法人内研修での実技訓練に併せて、事業所内研修時に実技訓練を定期的実施する。	12ヶ月
3	38	災害発生時における地域との協力体制について、より具体的に取り決めを行う必要がある。	災害発生時における地域との協力体制を整備し、利用者様の安全確保の構築をより強化する。	地域や町内会の行事に参加し、施設における行事に町内会の方々に参加して頂けるように努め、日頃から交流を深める。運営推進会議において、協力して頂くこと、協力できることについて相互に理解し、連携できる関係を築く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。